

鼓童



アース・セレブレーション2013

- アマテラス
- アース・セレブレーション 2013
- 鼓童文化財団研修所
- 大小とのお別れ

アース・セレブレーション2013 2日目の城山コンサート「創世」より。(写真:岡本隆史)

東京、博多と変貌を遂げてきた「アマテラス」。いよいよ京都へやってきました。

鼓童通信

2013年7月～9月

AMATERASU アマテラス

博多座での公演は連日満席。たくさんのお客様に迎えられて公演出来る事は演奏者として本当に嬉しく思います。二〇〇六年の初演の頃はまだメンバーになりたてだった自分、七年たった今はメンバーもずいぶん入れ替わりました。当時の自分もきつとそうだったように、アマテラスという大舞台のプレッシャーを背負いながらも、一生懸命に取り組む後輩の若者達を見て、ひたむきな姿ってやっぱりいいものだなあと感慨深く思ったりしています。公演はアンコールが鳴り止まない事もあるほど好評です。アマテラスは自分も大好きな舞台、皆さん是非会場に見に来て下さい。

九／五十七

アマテラスの舞台では声も重要な要素の一つ。今回は玉三郎さんのご提案で公演前にメンバー全員で発声練習に取り組みんでいます。もちろん今までも歌う事はあったのですが、声という物にもっと深く向かいあう時間が出て来て、メンバーの意識が高まっていくのを実感しています。玉三郎さんの指導も日に日にヒートアップしていき「もつと喉を開く」「横隔膜をひきはがすっ！」「鼻の奥にレモンを入れるっ！」「鼻の穴の奥の穴を開ける」等々、ユーモア溢れる表現が目白押しで毎日充実した稽古になっています。(報告：坂本雅幸)

九／十八

このアマテラス、始めから終わりまで見所満載なのですが、自分の中でハイライトは二幕の始めの担ぎ桶の新曲「草分け」です。変拍子やブレイクだらけで、難解な構成。創作途中は覚えるだけでも大変でした。表現方法を模索し悩んではかり。しかし先日、玉三郎さんが「多分神様は世の中のことをよく知っている、大変な時でも冗談の一つくらい言えたりして。だからこの難解な曲でも、余裕があって、笑いの要素も入ったりして、自然な会話のように演奏してほしい」とおっしゃったことが自分の中で腑に落ち、そんな情景を想像しながら毎日舞台上で音の会話を楽しんでいます。

九／十九、二十

休演日に希望者で、アマテラスの岩戸開きの地、宮崎県高千穂町に行ってきた。天岩戸があつたとされる洞窟や、神様が相談した河原、アメノウズメと猿田彦が結婚した神社、そして今も毎晩神楽が披露されている高千穂神社など。天孫降臨の地として長年人々の祈りが捧げられて来たこの土地は、自然の美しさに加えて、透き通ったような神聖な空気に包まれているように感じました。それを肌で感じての今日の公演は、一つ一つの場面の情景が浮かんで来たり、空気の質感が違ってくるように感じたり、神様を身近に感じたり。また一つ新たな気持ちでここからの公演に取り組みそうです。(報告：内田依利)

SOLO ACTIVITY ソロ・小編成活動

藤本吉利、藤本容子 ASANO TAIKO U.S. グランド・オープニング・イベント 七／二五～二八カリフォルニア州トランスロス空港から遠くない、トランスの街の国道沿いに誕生した浅野太鼓のグループ会社。アメリカの太鼓ネットワーキングに強く結びついた、浅野太鼓ならではの挑戦が始まります。特筆すべきは、販売やレンタルに加え、ロサンゼルス太鼓協会のメンバーを講師に迎えて、太鼓指導のシステムを立ち上げたことでしょう。彼らは準備期間から大奮闘。また、日本からの出演者(私たちの他に、今福優、末長愛、堂本英里、木村俊介各氏)も加わっての、ワークショップとコンサートは、ハワイ、カナダ、アルゼンチンなどからの参加も得て、前途を祝しての大盛況となりました。鼓童にとっても大変うれしくありがたい、魅力いっぱいキーステーション誕生です。(報告：藤本容子)

小島千絵子 舞舞台「道成寺」

八／二〇、二一 川崎市 古代インドでは創造主の名をつけた「梵天」さんと一つの舞台を創りました。私の創った「清姫」の世界と梵天の音世界の合作です。創り上げる作業は仏像を彫るそれに似て完成の姿が全く分からず不安が殆ど、確信が時々過るそんな苦行の毎日。手、足、胴体、頭、そして遂に舞台当日、皆の魂が入った舞台はお

SADO ISH. TAIKO CENTRE 佐渡太鼓体験交流館

八／十三～二二 EOCブレイイベント たちこう館体験ウィーク

一日三回各一時間、期間中合計一八六人の方々にご参加いただきました。夏休み中なので、パパ、ママ、小さい子どもたち、おじいさん、おばあさんも加わり毎回とても賑やかでした。大きな原木太鼓や、一才の子どもも叩ける高さの太鼓を準備。バチの種類も小さいものから片手で持てないくらい大きなものなど、いろんな形があります。今年も日本、アメリカ、ヨーロッパ、アフリカ、オーストラリア、アジア、ドバイなど国際的でした。来年も皆様のご参加をお待ちしています。(報告：十河伸一)

APPRENTICE CENTRE 研修所

九／十六 岩首祭り片付け 九月一日からの十三晩の稽古から祭りの一日、僕達を研修生としてではなく、岩首の余興部の人間として迎え入れてくれた皆さんにとっても感謝しています。踊り疲れて立っているのも難しい状況なのに、太鼓が鳴ると息を吹き返したように踊りきる鬼の姿に涙が出ました。「自分で限界なんか決めずに目の前のことに本気で全力でぶつかっていくこと」、その姿を見て人は感動するのかなと感じ、自分はまだまだだなあと改めて思いました。満足なんかせずに、ひたすら上を向いて頑張りたいです。(研修所日誌より／一年：神白佑樹)



七／二七 目出度くオーブンを迎えた ASANO TAIKO U.S. の前で記念撮影。(写真：浅野太鼓提供)

九／二二 鼓童、三宅島芸能同志会、和知太鼓保存会、和太鼓 京の出演で盛り上がった「祭囃」公演。(写真：主催者提供)



お客様にとっても初めて仰ぐ舞台……。幕が下り幕越しに聞いた客席のざわめき立ちに、彫り遂げた労を皆で讃え合いました。「道成寺」を観ることで観客も演者も浄化されるのです」とおっしゃっていた道成寺のご住職のお話を、その時思い出していました。(報告：小島千絵子)

山口幹文「風の彩二管の綾」 初日は常勝院の本堂に、一二〇名ほどのお客様にお集りいただくことができました。開演の鐘に続き、住職の声明に笛の音を重ねていくという、寺院ならではの趣向で幕を開けました。時折り聞こえる篝火のはぜる音や本堂を吹き抜ける爽やかな風に、心地よく演奏することができました。笛を奏でることはもちろん、人々が集う場所として、お寺は素晴らしい空間だと改めて認識した次第です。皆々さま、本当にありがとうございました。(報告：山口幹文)



作：宮崎正美

ご挨拶

このたび、吉井盛悟が8月末をもって鼓童を離れましたことをご報告いたします。これまでのご支援に御礼申し上げます。

この度、鼓童を離れ独立し舞台活動をしていくことを決心致しました。鼓童で教えて頂いたことを大切に、まだまだ至らない自分を一から鍛え直し、更なる高みを目指して勇往邁進致したいと思っております。

佐渡の皆様、旅先でお世話になった皆様、ファンとして支えて下さった皆様へこの場を借りて深くお礼を申し上げます。

寂しい思いも致しますが、また別の形で皆様にお会いできる日を楽しみにしております。



頑張ります。

今後ともご指導ご鞭撻の程宜しくお願い致します。

吉井盛悟



アマテラス AMATERASU

東京公演を盛況裡に終え、博多、京都と進む「アマテラス」連続公演。坂東玉三郎さん、愛音羽麗さんと共に神々を演じる鼓童メンバーの写真をお届けします。また、荒ぶる神スサノオ役は、東京、京都公演を小田洋介が務め、ダブルキャストで石塚充が博多座の舞台に立っています。全公演通して音楽監督も務める石塚充に心境を聞きました。

撮影●岡本隆史 協力●TBS、博多座 聞き手●上田恵里花 編集●松田菜瑠美

石塚充インタビュー

◆スサノオ役でこだわったところは？

最初は、荒ぶる神というイメージから、性格や太鼓のタイプとしても自分とは真逆だと思いました。だから、乱暴なだけじゃなく、自分なりに荒ぶるためには、岩戸にアマテラスを閉じ込めてしまうまでの動機がほしいなど。何故そんなに怒り、悲しんでいるのかを考えることを大切にしました。スサノオの最初の心の動きは、お母さんに会いたいけれど行かせてもらえないというところ。アマテラスに武器までもって反対されて、「じゃあ自分も無茶苦茶してやる」と。舞台では描いていませんが、そこを毎日考えて、ウォーミングアップでは怒りが湧いてくるまで身体を動かしています。僕は役者ではないので、スサノオを演じるのではなく、「凄く怒って悲しくて悔しい」みたいに、自分の感情として湧き上がってこない表現できないのだと思います。

博多での連続公演も折り返しですが、初日から振り付けは変えていなくて、同じ動きを繰り返していたら、動きと想いが繋がってきました。日に日にしんどくなって、動きも荒々しくなり、よりリアルになってきた感じがします。

◆音楽監督として心がけていたことは？

再演なので曲を作るのではなく、伝えたいものが伝わっているかどうか、聴かせたい楽器が届いているか、裏の裏の細かいことを調整していました。

◆舞台創りで周りから受ける影響は？

玉三郎さんは具体的なことはあまりおっしゃらなくて、「こういう気持ちで」というイメージの伝え方が素晴らしいです。だから自分も若手も、「こうしなきゃ」じゃなくて幅をもって動いています。イメージをイメージのまま伝えて伝わる感覚、すごく勉強になります。反対に振付のKAZUMI-BOY先生には踊り的な観点で、具体的にどういう動きをしたらどう見えるのか、感情をどうすれば処理できるのかを教えてくださいました。あと、メイクさんにはお世話になりました。荒ぶれるのかと心配だったのですが、メイクさんもうやったらスサノオになれるのか悩んだそうです。でも、メイクをしたらもらって鏡を見たら、これでいけると思いました。見た目って結構大きいですね。毎日これでスイッチが入ります。僕はいろんな人にスサノオにならせていただいたように思います。

九月三日 福岡にて



博多座公演で、スサノオを演じる石塚充

アース・セレブレーション2013

今年もご来場ありがとうございました



トーク&ライブ、セミナー

ワークショップとは別の、もっと気軽にたくさんの方々を楽しめるものをお届けしたい。そんな思いから飛び出した「トーク&ライブ」と「セミナー」。藤本容子の企画に、10月で鼓童の舞台をおりて来春からワークショップ講師をメインに活動する宮崎正美も一緒に参加しました。

藤本容子、宮崎正美

「うたのびっくり箱」

三〜八歳向けの子どもの達を対象とした企画を行いました。子どもと一緒に音をだして楽しむWSを作りたいと思っていたので、容子さんに誘っていただき、「子どもに伝えたい唄がある」という思いと共に、二人で楽しく取り組みました。

こうしたら喜ぶかなあ、わかり易いかなあ、びっくりするかなあ、一緒に歌ってくれるかなあと試行錯誤。親しみやすいニックネームも必要だね、ということもニットを結成。おこたんは頭に三枚の羽根が生えており、サミーちゃんもあんなにセッパで賑やかに登場。その瞬間、会場の子供たちは皆、ほかーん。しかし、次第に笑顔になってきて、名前を呼ぶと、はにかみながらも元気に返事をして

くれました。日本に昔からある童謡を歌ったり、手拍子でリズム遊びをしたり、おしまいは「きらきら星」を合唱。たくさん作った風車を星に見立て、「地上の星たちにお空の星をプレゼント！」と、参加者一人一人に手渡しました。親子で喜ぶ様子を見て、新しいWSの形が少し見えたように思います。まずは一歩前進です！

「次はどこでやろうか？」容子さんと顔を合わせると最近はいつもこの話題です。

(報告：宮崎正美)



みやざきまさみ → まさみ → さみ → さみー → サミーちゃん



フリッジ、ワークショップ、佐渡アウトドア体験

- 1 鼓童特別編成 宿根木一座 雨のあがった夜のフリッジ会場。屋台囃子は豪華キャスト。吉利と栄一の太鼓に幹文の笛。締太鼓は千絵子、正美そして容子!
- 2 小木おけさWS 地元のみなさんの丁寧な指導が魅力。夜の「小木おけさ」に踊れるようになって参加したいから、という方も多くいらっしゃいました。
- 3 佐渡の芸能 南片辺御太鼓 小さくても一人前! 子ども達がしっかり打ちます。
- 4 宵のゆんづる 踊りの前に出演者達がミニライブも行いました。草木染作家の飯森よしえさんによる衣装もしっとりと場所に馴染んで。
- 5 佐渡の芸能 新穂中央青年会 鬼とからむ獅子も大迫力。
- 6 小木半島不思議体験 佐渡は日本ジオパークにも選定されました! お天気にも恵まれて貴重な地質や地形の一部を体験できました。
- 7 じゃんがら念仏踊り 菅波青年会(福島県いわき市) 織細で勇壮な太鼓念仏踊り。太平洋から日本海へ、いわきの夏が届きました。



セミナー

「宮本常一と鬼太鼓座の時代」

小西公大 (東京外国語大学特定研究員)
杉本浄 (東海大学文学部専任講師)
門田岳久 (立教大学観光学部助教)

宮本常一氏ゆかりの宿根木・佐渡國小木民俗博物館を会場に、歴史が今に繋がることを若き研究者の方々のお話を通して再認識する機会となりました。



トーク&ライブ

「千絵子におまかせ!」

小島千絵子

「千絵子さんの踊りに魅せられて」「おっかけしてます!」というお客様に囲まれて。人前で話すのは苦手、という千絵子ですが、芸談や踊りの実演など伝えたいことが溢れ出るひとときでした。



トーク&ライブ

「太鼓人生どんどこどん!」

藤本吉利

「鬼剣舞」「和知太鼓」の実演やお話、「ハンヤ節」では参加者の皆さんとも一緒に踊ったり。「贅沢な時間でした! 音の魅力は人の魅力だと改めて感じました。」(参加者のアンケートより)



鼓童文化財団研修所

鼓童の舞台を花にとえれば、研修所のカリキュラムは、その「根」を育み、自分たちの心身を耕してゆく取り組みです。舞台に直結する、太鼓や踊りや笛・唄などの稽古はもちろん研修生活の大きな柱。それと同時にこの研修所で大きな学びとなるのは、芸能の源である自然と、その中で育まれた人々の暮らしです。そんな2年間の研修生の色濃い実体験の様子を写真でご紹介します。



祭



- 4月 2年生が地元・柿野浦の鬼太鼓衆に加わり、研修所に門付け。13日間、地元の方々に毎晩神社で稽古をつけていただき、迎えた祭りの1日。集落を奏ぐ祭りの喜びを身体いっぱい味わう。
- 柿野浦の祭り前日の準備。作業をしながら、地域の様々なことを教わる。
- 沢山の芸能が繰り出す8月末の小木祭り。時には衣装を借りて参加させていただき、地域や人による芸能の違いを体感する。
- 9月 岩首集落の祭り。2週間の稽古を経て1, 2年生が参加。集落の若者が力を振り絞って祭りの鬼役を果たす姿に、肩を組み、喉をからしてかけ声する研修生。
- 遠足に来てくれた近隣の小学生達との交流。太鼓や、歌って身体を動かす楽しさを工夫して伝える。
- お盆で帰省した方々も多く集まる、岩首夏祭りで演奏。各地から佐渡に勉強しに来た研修生達へと…温かい拍手をいただく場面。
- 毎年交流を深めている、新潟市の「日本自然環境専門学校」の皆さんの力を借りて、地元の方と共に柿野浦の竹林整備を行なう。



地域交流



稽古



- 山桜がほころぶ5月。裸足で大地を捉えて、岩手の郷土芸能「鬼剣舞」の稽古。踊りに必要な足腰にはまだまだこれからの1年生。
- 鼓童講師／見留知弘の「屋台囃子」の稽古。
- 外部講師／狩野泰一さんの笛の稽古。



小木三崎地区 海の景観 (写真: 前田聡子)

2014年度 鼓童文化財団「地域づくり」コース

- 実習期間 2014年4月~2015年1月 (10ヶ月)
- 主な実習フィールドおよび寄宿施設
佐渡・小木三崎地区/旧深浦小学校校舎
※小木三崎: 佐渡の南西端に位置する「小木半島」の別名。鼓童村もこの地区にあります。
- 実習生募集定員 3名
- 応募資格
・18歳以上 (2014.4.1現在) で実習および共同生活に適応できる体力と精神力を持った健康な人。年齢の上限はありません。
・性別、経験、学歴、国籍は問いません。
・実習で使われる日本語を、理解できる力を身につけていること。
- 応募期間 10月1日 (火) ~11月20日 (水)
- 実習内容 (予定)
・小木三崎地区の一次産業の実習、実践
・地域コミュニティを支える集落の祭りや行事への参加
・暮らすためのものづくり
・小木三崎地区の地域資源や文化、伝統技術などの調査
・地域のイベントのお手伝いや運営補助、情報発信
・鼓童文化財団関連施設やイベントでの運営スタッフ
・座学 (佐渡の自然、文化、歴史をはじめ、集落について) など

両コースのお問い合わせ

- 鼓童文化財団「地域づくり」コース 試行第一期実習生
佐渡太鼓体験交流館 (たたこう館) 担当: 上之山、菅野
Tel. 0259-86-2320 Fax. 0259-86-2385
Email: chiiki@kodo.or.jp
- 鼓童文化財団研修所「太鼓芸能集団 鼓童」
メンバー養成コース 研修生
鼓童文化財団 担当: 石原、本間
Tel. 0259-81-4100 Fax. 0259-86-3631
Email: kenshujo@kodo.or.jp

二〇一四年度

鼓童文化財団「地域づくり」コース 試行

鼓童の研修生制度は一九八五年に始まり、一九九七年からは二年制になり、鼓童の舞台メンバーを養成すると共に、広く社会一般に貢献できる人材を育成するため、様々な年齢、目的の人を受け入れてきました。その中で、佐渡の自然や文化・地域の人々と触れ合ったことで、自分の生まれた土地を元気にしたいと地元に戻ったり、佐渡の土地と人が好きになり、地域の芸能に携わりながら佐渡に暮らし始めるような若者も送り出してきております。

鼓童文化財団では、これまでの研修所運営で培ってきた経験を活かし、二〇一四年度より、鼓童の舞台メンバーを目指す

コースとは別に、佐渡の自然や文化の中で学んだ経験を、佐渡や各地の地域振興のために活かせる人材を育成する「地域づくり」コースの開設に向けた一歩を踏み出します。

「地域づくりを担う人材を育てるためには、どのような研修プログラムが必要か」、更には「地域づくりとは何か」「地域づくりの人はどのような自立できるか」という根本となる課題に対して、実践を通して向き合っていくことから始めたいと考えています。

私たちと共に、地域に学び、「地域づくり」コース開設に向けた取組みに参加してみませんか。フロンティア精神あふれる

なお、現在の柿野浦の鼓童文化財団研修所は二〇一四年度より「太鼓芸能集団 鼓童」メンバー養成コースとなります。鼓童の舞台メンバーを目指す人には、更なる高みを追求できる研修環境を作り、その舞台創作活動の源泉となる自然と人の暮らしの学びを、地域づくりコースと連携しながら更に充実したものにしていきたいと思います。

佐渡の豊かな自然の中で、あなたの可能性を試してみませんか。



生活・ものづくり

- 1、2 自分の箸と、バチを作るところから研修が始まる。
- 3 お隣りの豊岡集落の方々から、竹細工や妻わら細工を学ぶ。お気に入りのこの竹馬は、乗りこなすにはバランス感覚も必要。昔の子ども現代の若者も無邪気さは変わらないようです。
- 4 俳句の講師、赤塚五行さんに教わりながらの山菜採り。「採り過ぎてはいけないよ。」自然との付き合い方を学びます。
- 5 自然の恵みを分けていただくという心を持って、手間をかけて仕分けし、調理し、口にしたら山菜の美味しさ! 2月目は春のこの日が来るのが待ち遠しい。
- 6 研修所の屋根とその向こうに海を臨む田んぼ。田起こし、代かき、畦塗り…、農作業で昔の人の身体使いを知っていく。裏の山にこだまする鳥の囀り、水の音。五感を研ぎ澄ます自然に囲まれて、田植えの一日。



十二ページの写真: 石原泰彦、編集部



倉庫でもあった大小には長年の膨大な物が蓄積しており、引き払うための作業は、計画の立ち上げから約一年にわたる一大プロジェクトとなりました。たくさんの方に集まっていたいただける

ました。大小に住んだ経験のあるメンバーには、借り続けて活用していきたいという思いがありました。校舎部分も老朽化がかなり進み、床が一部抜けるなど、安心して利用することが難しい状態になってしまいました。時期は未定ですが、今後、建物は取り壊される予定です。

鼓童の本拠地として皆がそこに集い、「くらし、まなび、つくる」ことに明け暮れていた一九八〇年代の写真を改めてご紹介し、大小への感謝とともに、お別れのご報告とさせていただきます。

状態ではなかったため、残念ながらイベントなどを開催することはできず、元座員、元メンバーの方々には、ご報告のお手紙をお送りいたしました。その後、大小の思い出を文章にして送って下さる方や、佐渡を訪ねて下さる方もおられました。グループを離れても、大小への思いは強くお持ちなのだなど感じさせられました。

食堂の風景

(上)食堂は、食事をするとどまらず、皆の憩いの場でした。(太)
(中)朝食はパンとコーヒーに玉子料理などが主でした。のれんの向こうには台所が見えます。(太)
(下)「月刊鼓童」第1号を、メンバー全員で発送作業。友人のジョニ・ウェルズさんと、扉の前にはハンチョウの姿も。(富)



稽古場。民家が近いいため、体育館の内側に壁を立て、天井を張って、できる限りの防音を施していました。(太)



折にふれて集合写真をよく撮りました。手前でカメラを構えているのは富田和明さん。左の2階建てが、大工さんと一緒に座員自ら手造りしたプレハブの食堂。(太)

「大小」とのお別れ — さよなら、そしてありがとう。

鼓童が、前身の鬼太鼓座の時代から一九八八年まで本拠とし、以後も様々な形で使わせていただいた「大小稽古場」を、本年九月をもって佐渡市に返還させていただきました。

写真●太田順一さん(太)、富田和明さん(富) 文・構成●本間康子

大小(だいしょう)の名は、住所にちなみです。大小小学校の廃校となった校舎をお借りして、教室を区切って部屋にしました。校庭にプレハブを増築して食堂や浴室、客間を作り、友人や旅先で出会った人、師匠、共演者など、鼓童を訪ねてくる様々なお客様が滞在していました。生活も稽古も会議も作業も、何もかも、すべてがそこで行われていました。

一九八八年に鼓童村開村。事務所、続いてメンバーの住居が、現在の鼓童村に移りました。

一九九二年、鼓童村稽古場の竣工後は、研修所や合宿ワークショップ会場、メンバーの宿舎として、また二〇〇〇年代には、ワン・アース・ツアーと交流学校公演の二班体制にともない、第二稽古場としての使用が増えました。

プレハブ造りの食堂は傷みが早く、既に一九九七年にとり壊しました。その際に、二階にあったハンチョウ(初代鼓童代表・故河内敏夫)の部屋の遺品類を、玄関を入ってすぐの小部屋へと移し、ハンチョウを偲ぶことができる場所を設け



玄関の下駄箱には名前を貼って置き場を決めていました。えさを食べているのは、皆に愛された初代・鼓童大ゴン。掃除をする後ろ姿は、後の「しんちゃんせい」。(太)

託…託児あり 先…鼓童の会会員先行予約あり 指…全席指定 固…全席自由

(9月30日現在)

アマテラス

10/5(土)-27(日) 京都市

京都四條 南座
各日程とも残席僅かです。
阪急電鉄「河原町」駅(1番出口)より徒歩3分、京阪電鉄「祇園四条」駅(6番出口)よりすぐ
開演時間は下のカレンダーをご覧ください
特等席 15,000円、一等席 14,000円、二等席 A 9,000円、二等席 B 7,000円、3等席 5,000円 指
未就学児の入場は不可
チケット発売中
問) 南座 Tel. 075-561-1155

2013年 10月 京都公演 開演時間						
日	月	火	水	木	金	土
						5 14:30
6 14:30	7 14:30	8 14:30	9 14:30	10 休演	11 18:00	12 14:30
13 14:30	14 14:30	15 14:30	16 14:30	17 休演	18 18:00	19 14:30
20 14:30	21 14:30	22 14:30	23 14:30	24 14:30	25 18:00	26 14:30
27 14:30						

坂東玉三郎特別公演に出演

10/31(木)-11/10(日)

(11/7は貸切公演)
香川県仲多度郡琴平町
旧金毘羅大芝居(金丸座)
JR土讃線琴平駅、または高松琴平電気鉄道琴電琴平駅より徒歩約20分
14:00開場 15:00開演
第一部 地唄二題
一、鉤簾の戸(こすのと)
二、由縁の月(ゆかりのつき)
第二部 坂東玉三郎×鼓童
三、アマテラス幻想
※鼓童は第二部に出演
A席19,000円 B席13,000円
チケット発売中
問) こんびら歌舞伎事務局
Tel. 0877-75-6714

鼓童塾 齊藤栄一の太鼓篇

10/10(木)-14(月・祝)

4泊5日 佐渡市柿野浦
鼓童文化財団研修所
指導: 齊藤栄一(鼓童)
問) 鼓童文化財団 担当: 千田(ちだ)
Tel. 0259-81-4100

藤本容子 「花のうてなの佐渡情話」



写真: Karen Steains

10/19(土)-20(日) 東京都

13:30開場 14:00開演(両日とも)
会場: 料理店「卯房(うぼう)」(東京都新宿区百人町2丁目6-7 ファミリーマート地下1F Tel. 03-6279-1344)
JR「新大久保」駅より高田馬場方面徒歩5分
2,000円(ドリンク付)
問) 03-3364-2645(本城)、080-5087-1481(サンニャプロジェクト)

藤本吉利、山口幹文 第61回新潟市芸能まつり

湊 新潟 万代太鼓と和の競演「萬代(よろずよ)に響け新潟 和の心」
出演: 新潟万代太鼓振興会
賛助出演: 新潟市民謡連盟
特別ゲスト: 藤本吉利、山口幹文

10/20(日) 新潟市

新潟市民芸術文化会館 りゅーとびあ劇場
13:00開場 13:30開演
前・当共 1,000円 固 チケット発売中
未就学児の入場はご遠慮ください。
問) りゅーとびあチケット専用ダイヤル
Tel. 025-224-5521
新潟万代太鼓振興会(廣川)
Tel. 025-386-6656

小編成公演 芸能の宝島

世界の鼓童とともに 芸能の宝島
佐渡おけさ・鬼太鼓・鼓童の祭典
出演予定: 鬼太鼓、佐渡民謡(おけさ)、鼓童(藤本吉利、小島千絵子、山口幹文、宮崎正美、草洋介、小松崎正吾)

10/16(水)-18(金)

新潟県佐渡市
両津文化会館
19:15開場 20:00開演
佐渡島外からお越しで島内の宿泊施設(民宿・旅館)をご利用のお客様対象。各宿泊先で配付の入場整理券を持参してください。入場無料。
問: 芸能の宝島佐渡実行委員会
Tel. 0259-27-5000(佐渡観光協会両津支部)
※鼓童の演奏は30分程の予定です。

鼓童ワン・アース・ツアー2013 ～神秘

11/23(土・祝) 新潟県佐渡市

アミューズメント佐渡
両津港から車で30分、バス35分。佐和田バス・ステーションより徒歩5分
18:00開場 18:30開演
SS席 4,500円(1階1列～13列)
S席 4,000円(1階14列～29列)
A席 3,500円(2階1列～3列)
B席 3,000円(2階4列～7列) 指

※学生(小学生～高校生)は各席種とも2,000円引き。当日会場入口で差額の2,000円を返金します。中学生以上の方は身分証明書をご持参ください。
未就学児の入場は不可
指 要予約 鼓童 Tel. 0259-86-3630
チケット発売中
問) 鼓童チケットサービス
Tel. 0259-86-2330

12/3(火) 愛知県名古屋

愛知県芸術劇場コンサートホール
名鉄瀬戸線「栄町」、地下鉄東山線・名城線「栄」4番出口徒歩3分
18:00開場 18:30開演
A席 6,000円 B席 4,000円 指
未就学児の入場は不可
チケット発売中
問) 中日劇場 Tel. 052-263-7171

12/7(土)-8(日) 大阪市

NHK大阪ホール
地下鉄谷町線「谷町四丁目」駅2番出口より徒歩約3分、地下鉄中央線「谷町四丁目」駅9番出口すぐ
7日(土) 18:00開場 18:30開演
8日(日) 14:30開場 15:00開演
前6,000円 当6,500円 指
未就学児の入場は不可
チケット発売中
問) ページワン Tel. 06-6362-8122

12/10(火) 岡山市

岡山市民会館
「岡山」駅より路面電車「東山」行き乗車、「城下」下車徒歩3分
18:00開場 18:30開演
5,500円 指
未就学児の入場は不可
チケット発売中
問) 岡山音協 Tel. 086-224-6066

12/13(金) 新潟県上越市

上越文化会館 大ホール
「直江津駅前通」バス停①番か②番から乗車「市役所前」下車、徒歩0分
18:00開場 18:30開演
S席 6,000円 A席 5,000円 指
未就学児の入場は不可
チケット発売中
問) 上越直江津ライオンズクラブ事務局
Tel. 025-525-1185

12/14(土) 完売

新潟県長岡市
JR長岡駅大手口10番線から乗車「市立劇場前」バス停下車、徒歩0分
長岡市立劇場大ホール
18:00開場 18:30開演
S席 6,000円 A席 5,000円 指
未就学児の入場は不可 託 12/7(土)までに長岡市芸術文化振興財団(Tel. 0258-29-7715)へお申込みください。
問) TeNY チケット専用ダイヤル
Tel. 025-281-8000
長岡市芸術文化振興財団事業課
Tel. 0258-29-7715

12/15(日) 新潟市

新潟県民会館大ホール
「新潟」駅万代口よりバスで約20分
18:00開場 18:30開演
S席 6,000円 A席 5,000円 指
未就学児の入場は不可 託 11/29(金)までに TeNY チケット専用ダイヤル(Tel.

025-281-8000)までお申込みください。
チケット発売中
問) TeNY チケット専用ダイヤル
Tel. 025-281-8000
新潟県民会館 Tel. 025-228-4481

12/18(水) 神奈川県横浜市

KAAT 神奈川芸術劇場ホール
みなとみらい線「日本大通り」駅徒歩5分、JR・市営地下鉄「関内」駅徒歩15分
18:00開場 18:30開演
6,000円 指
未就学児の入場は不可
10/12(土)発売
問) tvk チケットカウンター
Tel. 0570-00-3117

12/20(金)-23(月・祝)

東京都文京区
文京シビックホール 大ホール
東京メトロ丸ノ内線・南北線「後楽園」駅、都営地下鉄三田線・大江戸線「春日」駅より直結
20日 18:30開場 19:00開演
21～23日 13:30開場 14:00開演
S席 7,000円(1階全席、2階13列まで)
A席 5,000円(2階14列以降) 指
学生券(S席A席共通)3,000円
未就学児の入場は不可
10/12(土)発売
問) 鼓童チケットサービス
Tel. 0259-86-2330
tvk チケットカウンター
Tel. 0570-00-3117

12/24(火) 東京都文京区

文京シビックホール 大ホール
13:15開場 14:00開演
S席 7,000円(1階全席、2階13列まで)
A席 5,000円(2階14列以降) 指
＜クラブツーリズム貸切公演＞
クラブツーリズムの会員以外の方でもご入場いただけます。
未就学児の入場は不可
チケット発売中
問) クラブツーリズム
Tel. 03-5323-6799

鼓童ワン・アース・ツアー2014 ～伝説 ヨーロッパ

1/29(水) イタリア、ローマ

1/31(金)-2/2(日) イタリア、ミラノ

2/7(金)-2/12(水)

(10日は休演) フランス、パリ
Théâtre du Châtelet

2/15(土) イギリス、プール

Lighthouse

2/17(月) イギリス、バーミンガム

Symphony Hall

2/19(水) イギリス、リヴァプール

Philharmonic Hall

2/20(木) イギリス、マンチェスター

The Bridgewater Hall

2/25(火) イギリス、ゲーツヘッド

Sage Gateshead

2/28(金) イギリス、ブライトン

Brighton Dome

3/3(月), 3/4(火) ドイツ、ミュンヘン

Philharmonie im Gasteig

3/5(水) ドイツ、ベルリン

Berliner Philharmonie

3/9(日) ドイツ、シュトゥットガルト

Liederhalle - Stuttgart / Hegel-Saal

3/11(火) ドイツ、フランクフルト

Alte Oper Frankfurt Konzert- u. Kongresszentrum GmbH

3/15(土) ドイツ、ハノーファー

Kuppelsaal Hannover Congress Centrum

3/17(月) オランダ、フローニンゲン

De Oosterpoort

3/19(水) オランダ、ハーグ

Dr Anton Phillipszaal

3/22(土) スウェーデン、ウプサラ

Uppsala Konsert & Kongress

3/24(月) タリン、エストニア

Nokia Concert Hall

(9月30日現在)

今年のアース・セレブレーションの初日は雨にみまわれました。
一日中降ったり止んだりする雨に、スタッフはあちこちで雨の対策をし
天気予報をにらみ、降り続ける空を見上げ続けました。
大きなトラブルもなく滞りなくコンサートができたこと、
ずぶぬれになってしまったお客様がそれでも笑顔で
「楽しかった」といってくださったことに感謝申し上げます。
翌日からは取り戻すかのようなお天気に恵まれ
6,000人のお客様にご来場いただきました。

来年、アース・セレブレーション2014は
2014年8月22日～24日に開催いたします。

写真：岡本隆史

お悔やみ

【姫田忠義様】

鼓童文化財団の評議員もつとめてくださった、ドキュメンタリー映画監督、映像民俗学者の姫田忠義様が七月二十九日にお亡くなりになりました。民俗学者の故宮本常氏の取材に同行されたことをきっかけに、日本各地を訪ね数多くの映像を残されました。民族文化映像研究所(民映研)を設立され、名誉所長もおつとめました。

【川瀬白秋様】

生田流箏曲白秋会家元の三曲(地歌三味線、箏、胡弓の三種の楽器)演奏家川瀬白秋様が七月三十一日にお亡くなりにな

りました。二〇〇三年の「鼓童ワン・アース・スペシャル」の「佐渡へ」や初演の「アマテラス」で演奏する箏と胡弓の受付と指導をしていただきました。

【石川純夫様】

鼓童施設の建築設計でお世話になっておりましたマカンボ建築設計事務所の石川純夫様が九月五日にお亡くなりになりました。古民家の移築・再生に関する第一人者で、講演や執筆など幅広い分野で活動されていらっしゃいました。

ご冥福を心よりお祈り申し上げます。

▼今年も岩崎伝佐渡鬼剣舞の一員として岩手県の「北上みちのく芸能まつり」に参加しました。岩崎城跡の鬼剣舞合同供養祭で舞の奉納、鬼の館公演、鬼剣舞大群舞と盛り沢山でした。ただ一番の思い出は、岩崎鬼剣舞の師匠の前での稽古。全力で踊りきった途端に、庭元から「ダメだ、もう一回」の声。と同時に「デンコン」と太鼓が始まり、汗で滑る床の上で食い縛って踊りました。(瑠)

▼「秋祭りでは獅子舞をやるんだ」と普波青年会の方々は笑顔で言って、二泊三日の強行軍でいわきに帰っていかれました。せつかく佐渡に来ていただいたのに、ゆくりお話ししたりご案内できないことが心残りだったのですが、ECでじゃんがら念仏踊りを紹介することは私にとっては悲願でしたのでひとつ、目標達成。故郷「福島」という地名が違う意味をもつて二年半。思い続け、私が出れることをひとつづつと思えます(美)

鼓童についての最新情報は、ホームページをご覧ください。

<http://www.kodo.or.jp>

鼓童事務所へのお問い合わせはこちらへ。

Tel. 0259-86-3630 (代) / Fax. 0259-86-3631

Email: heartbeat@kodo.or.jp